

青嵐中ライブラリー 9月号

Seiran junior high school library

令和7年9月19日(金)
西東京市立青嵐中学校
学校司書

とう か した こう 灯火親しむべきの候

「灯火親しむ」は、あかりになじむ、つまり読書をするということを意味します。唐代の文章家韓愈（かんゆ 768年～824年）の詩の一節から出たことばで、暑くなく、寒くなく、静かな秋の夜は、読書をしようとうたっています。いよいよ、読書の季節が到来しました。

「止」
戯歌ざれうた

「歩」は「止」と「少」から出来ています。
歩く動作の中に
「止まる」動作が
ほんの「少し」含まれています。

「正」「一」と「止」から出来ています。
信念の独走を「一度、思い止まる」のが

「正」ということでしょうか。

正しさを振りかざす御仁ほど

自分を顧みようとする資質を欠いているようです。

正義漢がふえると、揉め事もふえるのは
そのためです。

「歳」の中にも「止」があります。

より多く年齢を收穫するのが

歳の自然な成り行きかと思っていました
歳は人それぞれの宿命に
その歩みを止めるのです。

〔註〕「止」は「足」を意味する象形文字ですが、ここでは、単に
「止まる」意味に読んでいます。

『素直な疑問符 吉野弘詩集』から
(理論社)

青嵐中学校 カレンダー 9月

september 長月

月	火	水	木	金	土	日
1 ★	2	3 ★	4	5	6	7
8 ★	9	10 ★	11 わくわく	12 ★	13	14
15 敬老の日	16 わくわく	17 ★	18 わくわく	19 ★	20	21
22 ★	23 秋分の日	24 ★	25 定期考査	26 ★	27	28
29 ★	30	10 /1 ★	10 /2	10 /3 ★	10 /4	10 /5

9月の人 正岡子規 まさおかしき

1867.10.14～1902.9.19

正岡子規は愛媛県松山市に生まれました。明治時代、子規は、新しい時代の人々の心にひびく俳句を誕生させました。「写生」の表現方法で見たまを俳句にしようと思いました。短歌や文章にも、日本の文学全体に影響を与えました。夏目漱石とも親交が深く、「柿くえば鐘が鳴るなり法隆寺」は有名。

